

JST 理事長 記者説明会

令和元年 11月 8日



科学技術振興機構

サイエンスアゴラ2019の 開催について

「科学と社会」推進部



科学技術振興機構

サイエンスアゴラ2019 開催概要

日程：11月15日（金）～11月17日（日）

会場：15日は日本科学未来館

16日・17日はテレコムセンタービル、日本科学未来館、
シンボルプロムナード公園の3会場で開催

協賛：株式会社リコー、旭化成株式会社、株式会社学研ホールディングス、
日本アイ・ビー・エム株式会社、日本電信電話株式会社、
エルゼビア・ジャパン株式会社

テーマ：

「Human in the New Age – どんな未来を生きていく？ –」

今年のテーマは、Human（人）の未来です。

科学技術がより進んだ未来に、私たちはどんな暮らしをしていきたいでしょうか。

ありたい未来を創るのに求められる科学技術とは。

機械やAIなどの新技術に委ねたくない人間の本质、幸福とは。

今年のサイエンスアゴラは、未来に向かって自分が何を選び、どう生きていくのかを、さまざまな視点から考える機会を提供します。

今年のサイエンスアゴラのポイント

① ありたい未来を考えるプログラム構成

- ・ 未来のモビリティの乗車体験、年齢や障害を越えてみんなが楽しめるスポーツ体験、宇宙の起源に迫る企画や、人口増加に伴う食の問題など、幅広いトピックで、社会と科学の関係を問いかけます。

② 共創による社会課題の解決に取り組んだ好事例を幅広く紹介

- ・ 科学技術イノベーションを用いた地域の取組の表彰式を通じ、社会課題の解決に取り組んだ好事例を取り上げ、他地域への水平展開を目指します。

③ 次世代人材とつくるサイエンスアゴラ

- ・ 若手研究者や大学生、中高生によるブースやセッションを含め、科学者との対話、シンポジウム、ワークショップや展示など次世代人材を中心に据えたプログラムを実施します。

基調講演・キーノートセッション

11/15 (金) 日本科学未来館 未来館ホール

基調講演： 11月15日 (金) 13:30~14:20 (敬称略)

1. 「マダム、これが俺たちのメトロだ」
阿部玲子 (オリエンタルコンサルタンツ インド現地法人取締役会長)
2. 「A new generation of responsible science professionals for the New Age」
マイケル・マトローズ (EuroScience総裁)



キーノートセッション： 11月15日 (金) 14:30~16:00

「Human in the New Age -どんな未来を生きていく?-」

＜パネリスト＞ **稲見昌彦** (東京大学)、**中尾央** (南山大学)、**信原幸弘** (東京大学)、
マーク・ポスト (マーストリヒト大学)、**ララ・リー** (Creative Renewal社)
＜パネリスト/ファシリテーター＞ **駒井章治** (奈良先端科学技術大学院大学)



第1回 輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞） 表彰式&トークセッション



女性研究者の活躍を促進に向けた賞の 表彰式および受賞研究者、高校生を 中心とした次世代とのトークセッションを開催

今年度から新設した、女性研究者の活躍を推進する取り組みの一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究などを行っている女性研究者およびその活躍を推進している機関を表彰します。

第1回 輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）

2019年4月1日(月) - 6月30日(日)

賞額 100万円

対象 輝く女性研究者賞（女性研究者）
40歳未満（ただしライフイベント等による研究活動休止期間を勘案）
科学技術に関連していれば研究分野は不問

輝く女性研究者活躍推進賞（機関）
女性研究者の活躍推進に貢献する、他機関の士気となるような取り組みを行っている機関

第1回 輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞） 選考委員

高橋 厚子 (委員長) マサヒコ タカハシ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	西川 智恵子 トモコ イワノ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	河野 純子 リエコ イマイ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	北川 望 ノゾキ ウエノ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	村山 貴 タカハシ 厚子 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	室伏 真知子 マサヒコ タカハシ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	藤原 正史 マサヒコ タカハシ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	藤原 正史 マサヒコ タカハシ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表	藤原 正史 マサヒコ タカハシ 東京大学大学院工学系研究科 新学術領域 912461 領域代表

主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
協賛 JST 協賛企業 株式会社 科学技術振興機構 (JST)
TEL: 03-5214-6443 email: diversity@jst.go.jp

- 開催日時：11月17日（日）
13:00～14:30
- 開催場所：日本科学未来館 1階
- 主催：科学技術振興機構

再生可能エネルギーで、ここまでできる

～LCS パネルディスカッション in サイエンスアゴラ2019～

地球温暖化阻止の鍵となる再生可能エネルギーを利用し、
新たな産業を産み出し、生き生きしつつある地域の活動例から再生可能エネルギーが導く
明るく豊かな未来の可能性について、パネルディスカッションで議論！

登壇者

・モデレータ

東京理科大学名誉教授 森 俊介LCS研究統括

・パネリスト

岡山県西粟倉村 地方創生特任参事 上山 隆浩氏

浜松市 産業部エネルギー政策担当参与 内山 幸久氏

久慈バイオマスエネルギー株式会社 代表取締役 日當
和孝氏

・コメンテータ

東京大学 第28代総長 小宮山 宏LCSセンター長

■ 開催日時：11月17日（日）

10:00～11:15

■ 開催場所：テレコムセンタービル 1階アゴラステージ



次世代を担う科学者の紹介

～グローバルサイエンスキャンパス・ジュニアドクター育成塾 全国受講生発表会～

グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会および
ジュニアドクター育成塾 サイエンスカンファレンスに参加する
次世代人材によるアゴラのセッションレポートをメインステージで開催！

登壇者

グローバルサイエンスキャンパス全国受講生研究発表会 参加者（第一部）
ジュニアドクター育成塾 サイエンスカンファレンス2019 参加者（第二部）

■開催日時：

11月17日（日）

13:15～13:45（第一部）

将来のロールモデルを示す

グローバルサイエンスキャンパス修了生によるトークセッション

13:45～14:15（第二部）

ジュニアドクターによるサイエンスカンファレンス活動報告

■開催場所：テレコムセンタービル 1階アゴラステージ



「STI for SDGs」アワード 受賞取組決定について

概要

科学技術イノベーションを用いて社会課題を解決する地域における優れた取組を表彰することで、当該取組の更なる発展や同様の社会課題を抱える地域への水平展開を促し、もってSDGsの達成に貢献する。



文部科学大臣賞、JST理事長賞、次世代賞などを授与

受賞対象一覧

文部科学大臣賞

団体名：北陸先端科学技術大学院大学

取組名：染色排水の無害化を切り拓く最先端の草木染め

科学技術振興機構 理事長賞

団体名：みんな電力株式会社

取組名：「応援」やブロックチェーンを通じて再生可能エネルギーの生産者と消費者をつなぐ「顔の見える電力」

次世代賞

団体名：熊本県立天草高等学校 科学部 海水準班

取組名：あなたの地域は何cm？ ～高校生が主導して行う、地球温暖化による海面上昇量を推定する取組み～

優秀賞（4件）

団体名：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

取組名：農業に起因する温室効果ガスの排出緩和と気候変動適応技術による食糧安定生産への取組

団体名：アイコンポロジー株式会社

取組名：バイオプラスチック複合材の活用によるSDGsの推進

団体名：国立大学法人高知大学（教育研究部）

取組名：汚水処理の持続性向上に向けた高知家（こうちけ）の挑戦
～産官学による新技術開発と全国への展開～

団体名：株式会社スマイリーアース

取組名：循環型環境ストレスフリーを実現したタオル生産プロセスの構築で「日本タオル製造発祥の地」の地場産業を未来へ繋ぐ

文部科学大臣賞



- **団体名**：北陸先端科学技術大学院大学
- **取組名**：染色排水の無害化を切り拓く最先端の草木染め（草木染め技術を用いた着物、パーカー）
- **取組概要**
 - 室温15秒で染まる天然染料を実用化。また、草木染めを初めて合成繊維へ導入。先進的なSTIを活用して、世界の産業排水の20%を占めると言われるファッション産業の染色廃液を無害化し、環境負荷を大幅に削減。
 - また、草木染めが持つ「新たな価値」を国際会議でも発表したり、日本の大手アパレルと連携して商品開発に取り組んだりするなど「化学染料→天然染料」の新たな潮流を生み出す取組を始めている。
- **委員コメント**
 - 伝統産業をSTIで復活、拡張し、さらに環境、産業、まちづくりに関するSDGs達成にも大きく貢献する取組。
 - プロダクトにストーリーを付け、新しい付加価値を追求している点も高く評価。
 - 事業化、マネジメントの強化により、さらに大きく展開するポテンシャルを秘めている。

科学技術振興機構 理事長賞

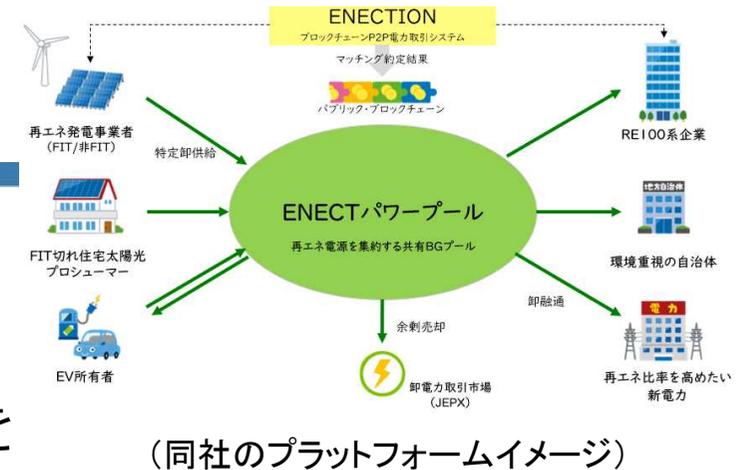
- 団体名：みんな電力株式会社
- 取組名：「応援」やブロックチェーンを通じて再生可能エネルギーの生産者と消費者をつなぐ「顔の見える電力」

取組概要

- 電気代の一部を消費者の選んだ発電所に寄付できる「応援」の仕組みや、ブロックチェーンで電力のトレーサビリティを証明するシステムにより、地域や企業の再生可能エネルギー発電所を紐づけして供給を行うトラッキングシステムを構築。「顔の見える電力」というサービスを実現。
- 選択の自由という新たな電力の価値を創造して再生可能エネルギーの振興に努めるとともに、電力の売買を通して発電所や消費者をつなぎ、発電所や地域の振興へも貢献。

委員コメント

- ブロックチェーンを活用した電力の可視化は、技術面においてもSTI活用の仕組みの完成度においても、非常にレベルが高い取組。
- 見えない電気に「価値」を与えるという発想は、地域創生にもつながり、ユニーク且つ重要であり、そのストーリー性も高く評価。



その他注目企画

① ありたい未来を考えるプログラム構成

- Science for Peace ～大型加速器が創る世界平和～
- ANAアバターを体感
- 超人スポーツセッション
- 国際周期表年記念企画
- 未来の乗り物「RODEM」を体験しよう！
- アゴラ市民会議「どんな未来を生きていく？ ～AIと共生する人間とテクノロジーのゆくえ」

② 共創による社会課題の解決に取り組んだ好事例を幅広く紹介

- 「STI for SDGs」アワード表彰式と好事例紹介
- 国立研究開発法人協議会主催シンポ「国研協による科学技術の連携で目指すSDGs」
- 輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）表彰式 等

③ 次世代人材とつくるサイエンスアゴラ

- 良縁創出企画 お台場100人論文
- 国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト（IVRC : International collegiate Virtual Reality Contest） 等

サイエンスアゴラ 連携企画①



サイエンスアゴラのビジョン、テーマ、トピックを共有し、JSTとともに実施する、共創活動の振興を図るフォーラム

・サイエンスアゴラ in 仙台&東北大学SDGsシンポジウム

日程：11月5日（火）、6日（水）

会場：東北大学 片平さくらホール（5日）
仙台国際センター 大ホール（6日）

主催：東北大学

共催：JST

テーマ：

東北から「持続可能で心豊かな社会」を創造する

基調講演：

エネルギー関連技術への期待：環境行政の経験から

小林 光（東北大学大学院総合文化研究科客員教授／
東京大学先端科学技術センター シニアプログラムアドバイザー）

The poster details the event schedule and speakers. Key information includes:

- Session 1 (Nov 5, 13:00):** New energy value chain for a sustainable society. Speaker: 小林 光 (Mitsuru Kobayashi).
- Session 2 (Nov 6, 9:30):** Science and society for new energy value chain. Speaker: 佐伯 浩治 (Hiroyuki Saeki).
- Session 3 (Nov 6, 15:00):** JST-Tohoku University joint workshop on SDGs. Speaker: 中谷 隆夫 (Takao Nakaya).
- 11月4日 事前研修:** Science and society dialogue. Speaker: 小川 博志 (Hiroyuki Ogawa).
- 11月4日 事前研修:** Industry dialogue. Speaker: 中谷 隆夫 (Takao Nakaya).

Registration fee: 2,000 yen. Venue: Tohoku University Sakurabara Hall (Nov 5) and Sendai International Center Grand Hall (Nov 6). Registration deadline: Oct 31 (Thu).

JST地域産学官社会連携分科会ワークショップとして、「プラスチックスマート：プラスチック問題から見るSDGs」を開催（11月6日（水）15:00開始 東北大学と共催）

サイエンスアゴラ 連携企画②



サイエンスアゴラのビジョン、テーマ、トピックを共有し、JSTとともに実施する、共創活動の振興を図るフォーラム

・サイエンスアゴラ in KOBE

日 程：11月9日（土）

会 場：甲南大学ポートアイランドキャンパス

主催：神戸医療産業都市推進機構、神戸市

共催：理化学研究所、神戸大学、甲南大学、JST

テーマ：

Youth of the future～科学の未来、未来の科学～

基調講演：

(1) 再生医療の開発～細胞、手術、ロボット

高橋政代 株式会社ビジョンケア代表取締役社長

(理化学研究所 生命機能科学研究センター

網膜再生医療研究開発プロジェクト 客員主管研究員)

(2) 闘う植物たち：植物の生きる工夫

三村徹郎 神戸大学大学院理学研究科教授

神戸医療産業都市一般公開特別企画

サイエンスアゴラ in KOBE

2019年11月9日(土)
10:00～12:00(開場・受付9:30～)

会場:甲南大学 ポートアイランドキャンパスF
レクチャーホール
神戸市中央区港島中町7丁目1番20
定員240名

参加費 無料

Youth of the future ～科学の未来、未来の科学～

講演1
再生医療の開発～細胞、手術、ロボット
株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 高橋政代
理化学研究所 生命機能科学研究センター 客員主管研究員
講演2
闘う植物たち:植物の生きる工夫
神戸大学大学院理学研究科教授 三村徹郎

事前申込
参加申し込み
こちらから

他にもイベントが盛りだくさん!
「一般公開特設サイト」を
チェック!

トークセッション ～地元高校生と交えて～
高橋政代 × 三村徹郎 × 宮川聖史 × 高校生のお友達

ファシリテーター
本田陽行

主催:神戸医療産業都市推進機構、神戸市
共催:理化学研究所、神戸大学、甲南大学、科学技術振興機構

お問い合わせ
TEL:078-306-2231 E-mail:stbic-pr@stbic.kobe.org

理事長記者説明会 講演者ご紹介



近藤 倫生

- 近藤 倫生（東北大学大学院生命科学研究科 教授）研究代表者
 - 宮 正樹（千葉県立中央博物館 部長）主たる共同研究者
- 【CREST】領域「海洋生物多様性および生態系の保全・再生に資する基盤技術の創出」
課題「環境DNA分析に基づく魚類群集の定量モニタリングと生態系評価手法の開発」(JSTnews2018.10月号)



宮 正樹

海水中に含まれる魚由来のDNA(環境DNA)を利用し、その海域の魚類の種構成や生物量などを把握する新しいモニタリング手法を開発。バケツ一杯の水サンプルから、そこに生息する魚種をまとめて検出する環境DNAメタバーコーディング手法はCREST研究で開発された世界最高レベルの技術。

環境DNA技術を用いた生態系観測は、地球規模での生態系の現状把握や異常検知、将来予測等における重要な役割を果たすことが期待される。2018年に一般社団法人環境DNA学会(会長:近藤倫生)が設立され、自然調和型社会の実現のために環境DNA研究とその社会実装を推進する基盤ができた。

SDGs特に「目標14: 海の豊かさを守ろう」の達成、そのための「国連海洋科学の10年(2021~2030年)」に大きく寄与することが期待される。